

釧路教育研究センター 研修講座

13

環境教育の充実～SDGs の考え方から釧路湿原での希少生物保護と開発を考える～

目 的	事例をとおして SDGs の考え方について理解し、希少野生生物の保護活動の取組を知るとともに、環境保全と私たちの生活との関係について見つめ、教員としての資質向上を図る。					
日 時	令和7年7月23日（水）13：00～16：00（受付12：40～） ※荒天時を除き、雨天決行					
会 場	釧路湿原野生生物保護センター （北海道釧路市北斗2-2101 TEL0154-56-2565）					
対 象	幼保認・小学校・中学校・義務教育学校・高等学校					
研 修 内 容	◇講 義 「希少野生生物の保護と脱炭素に向けた開発との共存を考える」 ◇フィールドワーク ・キタサンショウウオ生息地（太陽光パネル設置フィールド）等 ※バスで移動しながらの活動となります。					
日 程	13:00 13:10		13:55 14:05		15:50	
	受 付	開 講 式	講 義	休 憩	フィールドワーク （バス移動）	リ フ レ ク シ ョ ン 閉 講 式
講 師	「NPO 法人環境把握推進ネットワーク PEG」 代 表 照 井 滋 晴 氏					
備 考	○服 装：天候に合わせた歩きやすい服装（主に屋外での活動となります） ○持ち物：飲み物、帽子・雨具または傘（天気予報に合わせて各自判断） クリップボード（記録用）、筆記用具、虫除け（必要であれば） ○釧路湿原野生生物保護センター集合、解散となります。 ○フィールドワークは、バスで移動しながら行います。					